

目標達成計画

作成日: 平成 27年 6月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1		重度化・看取りに関する資料の作成	当施設での、重度化・看取りに関して家族の理解を頂く。	重度化・看取りに関する資料を作成し、家族に説明、あらためて理解を頂く。 なぜ看取りが出来ないのか理解をして頂けるようにし、重度化したときの対応なども説明しておく。	6ヶ月
2		避難訓練の実施	避難訓練の定期的実施。急な災害時の冷静な統一された行動力を身につけること。	避難訓練の実施年3回の実施。火災、水害、津波、原発、夜間など災害に応じた訓練を実施し、職員の避難行動の迅速さを身につけていく。	12ヶ月
3		職員のケアの統一	職員によって、ケアの差をなくし、利用者個別ケアを図る。	月に一度のカンファレンス実施し、月間サービス計画者による個別ケアに力を入れ、利用者の体力の向上や、外出支援の実施、声かけの統一などを図っていく。	6ヶ月
4		職員の介護力の向上	職員全体の介護技術の向上を図る。	月に一度の勉強会の実施にて、職員全体の介護力を向上し、施設全体での介護力の向上につなげる。	12ヶ月
5		リハビリ、医療機関との連携	施設内でのリハビリや、看護面からのアプローチなどで利用者の健康面、体力面の向上を図る。	訪問リハビリ、循環型の訪問看護などを取り入れ、専門的な知識、技術からケアを行い、また、知識の職員への浸透を図り、職員自体の意識、知識の向上を図る。	6ヶ月